

心豊かな暮らし

矢橋の家



VOL.55
SUMMER 2020

縁
EN



心豊かな暮らし

矢橋の家

4. "ステイホーム" を快適に暮らせる家

8. 矢橋の家 新商品
「開化」洋風平屋モデルハウスオープン！

10. 麗しき住環境の創造 レジデンス東前
「矢橋の家」のInstagram

11. 余呉農園の野菜レシピ

VOL.55 SUMMER 2020

縁
EN

表紙 赤坂お茶屋敷跡 ホテルブクロ

左. L様邸 外観 右. L様邸 2F バルコニーから庭を見て



"ステイホーム"を快適に暮らせる家

名古屋市 L様邸



- 左 ダイニング・キッチンでくつろぐ。キッチンはコンロとシンクが別々になったセパレートタイプ。
- 1 リビングからは庭が眺められる。お気に入りの棚にはT君の図鑑や歴史の本が収納されている。
- 2 フロントオープン型のミールの食洗機。開口部が広く大容量、油污れも落ち、洗い残しがないため、お鍋やフライパンもそのまま入れられます。一日分の食器を夜にまとめて洗うことも可能。共働き夫婦の強い味方。
- 3 リビングからダイニングを見る。懐シリーズの特徴である格子が部屋を自然に仕切る。天井にもフローリング材を施し、木の温もりに包まれるような空間となっている。
- 4 リビングに併設されているカウンターで仕事や読書を。庭を眺めることができる。

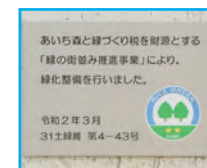
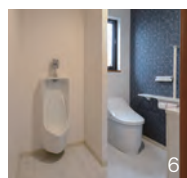
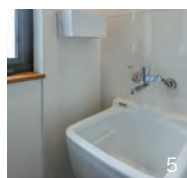
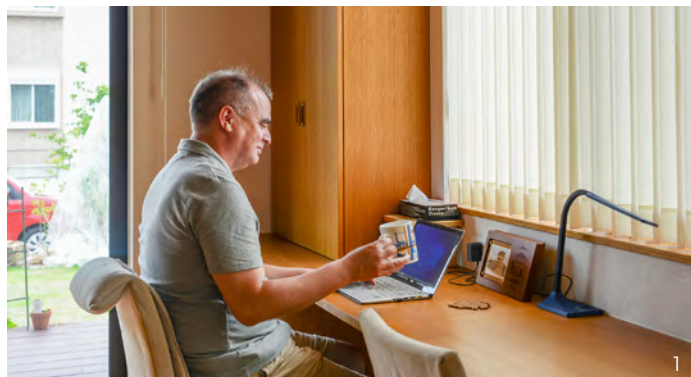


自然と共生する閑静な住宅街。緑豊かな庭を有するL様邸では、ご子息のT君が家庭菜園の野菜や木の実のお世話に勤しんでおり、「見て、イチゴができたよ!」と嬉しそうに説明してくれました。植物や昆虫が大好きで、虫を捕っては手のひらに乗せ、見せてくれます。そして、虫をもといた場所に放す姿を見て、好奇心旺盛で、とても心優しい少年、と言う印象を持ちました。

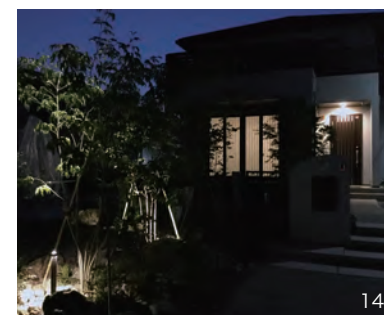
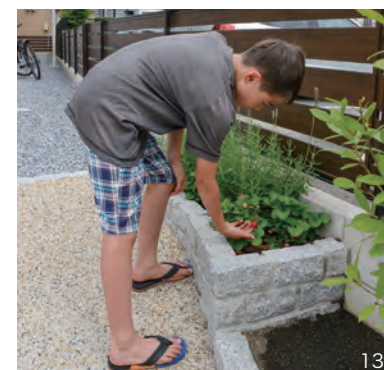
共働きのご夫妻は仕事の関係でしばらく離れ離れでしたが、職場が名古屋に揃ったことを機に、家づくり

をスタート。「矢橋の家」を選んでいただいたきっかけは、偶然仕事の関係で訪れた矢橋グループの会社視察でした。「矢橋社長の、ものづくりへの情熱と社員に対する真摯な姿勢に共感し、モデルハウスを見学して、この会社が建てた家に住みたい!と思いました」と話されるのは奥さま。

カナダ出身のご主人が家に求めたものは、風がよく通り、光がたっぷり入って明るいこと。窓と天井の高さにもこだわりました。木の温もりを感じる無垢フローリングは「裸足が気持ちいい」と、満足されていました。



1 早朝はここでコーヒーを飲みながら仕事をするのが日課というご主人。
 2 庭のナツハゼに実がつき始めた。 3 寝室にはご主人が子どもの頃から大事にしているというマペットが。 4 テレワークの職場となった書斎部屋。
 5 玄関収納に併設した水道は、帰宅時にすぐ手などを洗って便利。
 6 トイレにはご主人の要望で男性用小便器も設置した。 7 収納が充実した玄関。土間にはT君が飼育している「生き物コーナー」があり、カブトムシなどを飼育している。 8 庭にビオトープを設置されたのは奥さま。T君が川で捕まえた魚が泳いでいる。 9 されいに咲く紫陽花。 10 家庭菜園にやってくる虫の観察に夢中のT君。 11 緑の街並み推進事業に参画。この取り組みは、市街地の多くの部分を占める民有地に緑を増やし、美しいまちづくりを進めるという愛知県の推進事業。 12 ウッドデッキで食事を楽しむ。 13 T君が育てたイチゴの実。 14 柔らかな光が美しい夕景。



「早朝、リビングのカウンターでひとり仕事をしていると、庭のビオトープに鳥が水浴びに来てくれます。その鳥の声を聴き、毎日癒されています」。

家が完成し、引っ越し時にコロナ禍の影響で学校が休みになり、新居での新生活とともに職場でもテレワークが始まりました。書斎として作った部屋を夫婦で仕事ができる環境へ整備。会議などは時間をずらすなど工夫をし、勤務されています。

「図らずも強制的にテレワーク環境が整うことになり、よいきっかけになったと思います。『場所を選ばず仕事ができる』というメリットは今後も働き方のひとつとして

活かしていきたいです。慣れない自粛生活で疲れても庭でリラックスできますし、住環境が快適なため、矢橋の家はステイホームやテレワークにもおすすめです」と笑顔のご主人。

仕事を終えた週末には、ウッドデッキで食事をされるというご家族。庭の家庭菜園には多種類の野菜や、緑のカーテンになるきゅうりやメロンが。春先から大切に育てていらっしゃる作物が、これから収穫を迎えることでしょう。市中に居ながら豊かな自然とともに暮らし、庭と家の繋がりを楽しんでいらっしゃる様子が伝わってきます。

洋風平屋

開化
KAIKA

モダンなのに
なつかしい…

Grand Opening!

大垣市東前に新しく洋風平屋のモデルハウス「開化」が誕生

NEW
MODEL
HOUSE



オープンイベント開催!

10:00-17:00

7月 23日(木) 24日(金) 25日(土) 26日(日)

ご来場はいずれかの方法でご予約をお願いします。



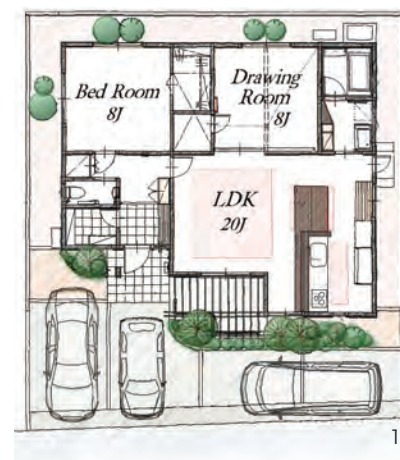
◀QRコードを
スキャンし、HPから
「イベント予約」



◀お電話ください

0120-884-039

ご案内は1 枠1 組ずつ、予約優先でご対応させていただきます。



設計 早川正夫建築設計事務所
敷地面積 176.17㎡ (53.29 坪)
施工面積 84.26㎡ (25.48 坪)
1F 床面積 82.60㎡ (24.98 坪)

※パースは全てイメージです

■全フロアに使用した
矢橋オリジナル無垢フローリング

素足に気持ちいいと評判の矢橋オリジナル無垢フローリングを全フロアに。リビングにはヘリンボーンタイプを施し、印象的なデザインとなっています。

■屋根形状を活用したロフト
で平屋の収納力をアップ



生活動線がシンプルで、ゆったりと開放的な空間で過ごせることが平屋の魅力であり、若い世代から終の棲家としても人気があります。天井高を利用したロフトには季節ものの大型家電を収納したり、お子様の遊び場としても大活躍です。

■オリジナル造作材で深みが増す空間

素材の良さを生かしたシンプルでお洒落な空間に、矢橋らしい深みをプラスした洋風平屋には、北欧テイストがよく合います。全体的に明るい雰囲気です。白ベースを基調としたLDK。木質感と深みが増すブラウンを基調とした寝室。各部屋がより居心地の良い空間となるよう、本物の素材で異なる意匠を実現できるのがオリジナル造作材の強みです。



洋風平屋の新モデルハウス「開化」はこちらでご覧いただけます。



RESIDENCE レジデンス東前 HIGASHIMAE

うるわ
麗しき住環境の創造 Residence Policy

「心豊かな暮らし」への第一歩は、安心・安全、かつ美しい風景があり、
ここから住んでみたいと思っていられるような場所を創造することです。

遠くから我が家を見ると、緑の木々に囲まれた

一つの邸宅 (Residence) のように見える街。

そこにお住まいになる方々は「心豊かなコミュニティー」が自然と醸成されていく、
そんな「麗しき住環境」を提供していきたいと考えております。



つながるコミュニケーション

視界が広がり、ご近所同士コミュニケーションが
取り易い動線を確保。つながりが感じられ、円を
描くようなコミュニティーがうまれる。

一年を通して美しいお庭

春の新緑、夏の本陰、秋の紅葉、冬の本立。アプローチの花壇には季節
を彩る草花たち…。邸ぞうつお庭のカレンダーを作成し、季節毎
に変化する美しいお庭をご提案している。



【物件概要】
RESIDENCE HIGASHIMAE (レジデンス東前)
●岐阜県大垣市東前2丁目●開発面積/4,206.93
㎡●交通/JR 東海道線 大垣駅 約3,000m ●総区
画数/17区画●今回販売区画数/11区画●敷地
面積/150.87㎡～245.99㎡●販売価格/1,203
万円～●用途地域/第1種中高層住居専用地域
●地目/宅地●建ぺい率/60%●容積率/200%
●道路幅員/6m ●水道/公営上水道●排水/公
営下水道●ガス/大垣ガス●電気/中部電力●取
引形態/売主●開発許可番号/大垣指令第29
1535号

岐阜県大垣市
東前2丁目289-2

地図はこちら
(Google マップ)



AGROFORESTRY

余呉農園の野菜レシピ

ヘタ紫なすと クリームチーズのパテ

焼き茄子の香ばしさと爽やかなチーズ
の酸味がパンにぴったり。クミンの豊か
な香りが食欲をそそります。

材料(2人分)

- ・ヘタ紫なす…4～5個
- ・クリームチーズ…100g
- ・オリーブオイル…大さじ1
- ・塩、胡椒…適量
- ・クミンパウダー…適量

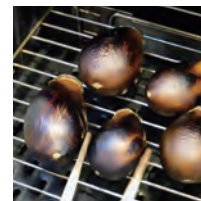
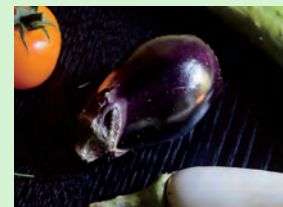


つくり方

- 1 なすをオープンに入れて5分、ひっくり返して更に5分加熱して、丸焼
きにします。
- 2 熱いうちに皮をむいてざく切りにします。
- 3 ボウルにクリームチーズとなすを入れてかき混ぜます。
- 4 オリーブオイル、塩、胡椒、クミンパウダーを振りかけて混ぜたら、出来
上がりです。お好みで粉末のハーブをふりかけても。パンに乗せると、
美味しくお召し上がりいただけます。

ヘタ紫なすとは？

その名の通り、ヘタの下まで紫
色になる短卵形の小さなすです。
色やつや、日持ちがよく、皮も薄
くて、果肉が柔らかく甘みがある
のが特徴です。



2020年にはコロナウィルスの大流行で世界中が意表を突かれました。

外出が制限され、ステイホームと言うことで、家に閉じこもる事が推奨されました。ますます家の重要性
が増して参りました。家から出なくても、充分家の中で楽しめる必要が求められます。

まずデザインに関しても、シックよりも、むしろ暗くならない雰囲気重要視すべきだというふうに見える
ようになりました。最近、北欧のようなお陽様の登らない国でのデザインに関して注目をしております。
長い時間、家の中で、暗く極寒の外から退避して過ごすこのデザインの良さを、我々日本も学ばなくては
いけないと考えるようになりました。家の窓から緑が見え、花を生けるスペースがあり、心豊かに暮らしを
楽しめる、そういう家を作らなければならないと考えております。

新しいモデルハウス、平家の洋館『開化』には、スカンジナビアンテイストを取り入れました。

矢橋林業株式会社
代表取締役社長

矢橋龍宜

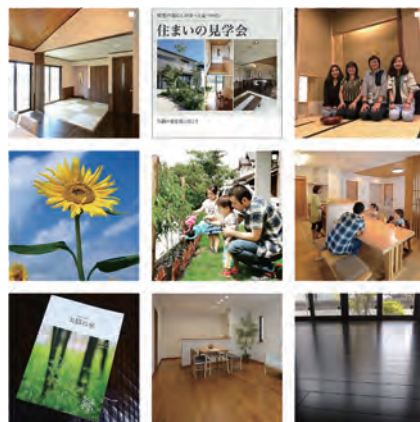
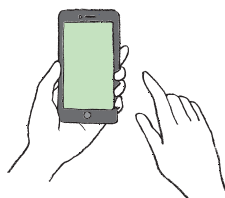


Follow Me!



「矢橋の家」の インスタグラム更新中！

営業スタッフがイベント情報や
建築事例などを随時ご紹介して
います。ぜひ覗いてみてください。



心豊かな暮らし
矢橋の家